

# 常光寺々報

2022.8

## 秋季彼岸会法要

九月二十三日（金）

朝十時～十二時

昼一時半～三時半

東京仏教学院講師

御講師 成田 善真 先生

空気循環のため、本堂は扉を開けて、換気をしています。気候に合った装いでお参りください。

お経本とお念珠をお持ちください。マスクの着用もお願いいたします。

お寺のホームページからも

寺報をご覧いただけます。

下記QRコードよりお入り

ください。

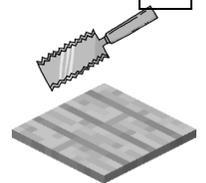


相も変わらずコロナ禍に振り回される毎日が続いておりますが、今年も秋季彼岸会法要の時期がやってまいりました。

御講師の成田先生は横浜にある善行寺のご住職で、上記にありますように東京仏教学院で講師として勤めておられ、一般社団法人仏教情報センター相談員も務めておられます。

あまり知られてはいないかもしれませんが、東京仏教学院は、中央仏教学院・広島仏教学院と並んで、本願寺派の僧侶を養成する機関専門校で、築地本願寺内に併設され、私も京都から帰ってきた二〇代の頃、ここで学ばせていただきました。どうぞ、皆さまもこの度のご縁を大切に お参りされ、ご聴聞いただきませう、ご案内申し上げます。

日々あれこれ



私が生まれた年に完成した庫裡も築五十年を過ぎました。

完成直後から雨漏りが始まり、あちこち修理改修しながらおりましたが、先日も床が抜けた庫裡の台所などの修理をしました。

木を握ったら潰れてしまうといった、テレビのリフォーム番組で見ていたことが文字通り自分の足元にもありました。

修理を機に、畳敷きの茶の間がフローリングのリビングに変わり、皆が昼寝をしていた掘り炬燵も無くなりました。が、大人も子供も昼寝の場所は変わらないようです。一度ついてしまった習慣を変えるのは難しいですね。

法事の折、お寺の玄関に

ご挨拶に見えた方からの問い

Q. お布施はいつお渡しすればいいのでしょうか？

A. ご法事の前にお預けください。

お寺でご法事をお勤めされる記憶の中にある御両親はご法事の前にお布施を預けていられたのでしょうか。しかし、ご自宅での法事の時には後で渡す姿も見た覚えがある。さてどうすればいいのか？という問いだと思えます。

「お布施」は「お経料」ではありません。「お布施」は僧侶のおこなった読経などに対する対価ではなく、「喜捨」「御懇志」などともいい、阿弥陀さまにお供えする「お供物」の

一種でもあります。また、燈明やお香、仏花もお供物であります。

一般に言われるお供物は、他にもお菓子やお酒、お米・果物などなど、いろいろな種類がありますが、どれもご法事の際にあらかじめお預かりし、本堂に御荘厳として飾らせていただきます。

同じようにお寺でご法事をお勤めされる際には「お布施」もお供物の一種でありますので、法事の後ではなく、あらかじめほかのお供物と共にお預かりしてお供えし、本堂の御荘厳とさせていただきます。

ご自宅のお仏壇でお参りさせていただく際は、あらかじめお仏壇の御荘厳として、お布施をお供えしていただき、最後にお仏壇から下げて、改めてお預けいただけると、よい姿ではないかと思えます。

## 無財の七施

いつでも、どこでも、だれでも、自分のできる範囲で実践できるもので、思いやりのある生き方を示すものです。

眼施（げんせ）

あたたかいまなざし

和顔悦色施（わげんえつじきせ）

にこやかな表情

言辞施（ごんじせ） やさしい言葉

身施（しんせ） 精一杯のおこない

心施（しんせ） 慈しみ深い心

床座施（しょうざせ）

人にあたたかい席を

房舎施（ぼうしゃせ）

気持ちよく迎える心がけ

時節柄、マスクをかけているため

和顔悦色施（わげんえつじきせ）は

判りにくいですが、できる範囲で心

がけていきたいものです。